

町長の

あやめ日記



諸輪地区に待望のトマトハウス完成②

先月は、諸輪地区のトマト農園「Toma Rosso TOGO FARM (トマロッソ東郷ファーム)」が開園するまでの経過をお知らせしました。今月は、今なぜトマトなのか、今後はどうなるのかをお知らせします。

トマトは、生産者の高齢化や施設の老朽化などで年々生産量が減少しています。また、生産量が国内第5位だった福島県が、震災以後回復しきつていないため、生産量の減少傾向は今後も続くと言われています。

一方、需要は、昨春トマトがダイエツトに効果があると報道されて以来、需要過多が続く、今後も高い相場を保つといわれています。また、もともとトマトは健康食材として安定的な需要がある上、ジュースやケチャップとして大衆的な人気もあります。

(株)プロトコーポレーションは、これらのことを考慮した上で、日本の成長を支えてきた農業を「持続できる農業」

に変革すべく、本格的な企業参入を決定しました。そして栽培技術の蓄積と販路の開拓に3年の時間をかけ、ようやく同ファームを完成させたのです。

トマトは、周囲の環境に配慮した循環式水耕栽培（肥料や養液を垂れ流さない方式）で通年生産されます。品名は東郷産「Toma Rosso (トマロッソ)」になる予定です。本町に新たなブランドが誕生するのです。

現在の温室面積は1.3ヘクタールですが、地権者の協力が得られれば、さらに拡大する計画です。諸輪地区は、新しい農業のビジネスモデルの地として全国的に有名になると思います。

また、米、イチゴ、イチジクなど、すでに町内で生産されているこれらの農作物の生産者と協力してブランド化を進め、付加価値を高めて大消費地名古屋市に発信するつもりです。本町はもうかる農業の仕組みづくりを支援していきます。

東郷診療所所長の久保奈津子です。



脳梗塞のリスクとなる心房細動について



心房細動とは、心房が規則正しく収縮せず、血液をうまく送り出せなくなるため、心房内で血液がよどみ、血栓がでやすくなります。

血栓が脳の血管に詰まると脳梗塞を発症し、体の広範囲が一気に動かなくなったり、意識を失ったりします。命が助かっても麻痺などの後遺症が残ったり、寝たきりになることもあります。心房細動をそのまま放置した場合、約5%の人が脳梗塞を発症するといわれています。

動悸やめまいがする、胸が痛い、モヤモヤするなどの症状はありませ

ドクター久保の

健康ワンポイントアドバイス!

んか。また、脈を測ったときにリズムが乱れていませんか。（ただし、全く症状がないこともあります）

このような状態に気づいたら、医療機関を受診し、不整脈の診断をしてもらうことが重要です。

診断には、心臓の活動を数秒ずつ記録する「心電図」や、携帯型の記録器で24時間心電図を記録する「ホルター心電図」などがあります。

心房細動は、健康な人でも発症しますが、高血圧、糖尿病、心筋梗塞、弁膜症などの心臓病、慢性の肺疾患などがある人は、より発症しやすいといわれています。また、アルコールやカフェインを大量に飲んだり、ストレスを受けたりしたとき、睡眠不足のときに発症しやすくなる人もいます。今の時期は、暑さで脱水になって心房が縮み、血液が濃くなると、血栓がでやすい時期です。

生活習慣を見直したり、適度な水分補給をしたりして、脱水に気を付け、心房細動を予防しましょう。